

令和3年1月12日

論語学習

1月12日（火）に論語学習を行いました。

今朝は、グラウンド一面に積雪がみられるなど、厳しい寒さではありましたが、生徒たちの論語を朗読する姿に元気づけられました。



今回は、雍也篇6-12を朗読しました。

冉求曰く、

「子の道を説ばざるに非ず。力足らざる也」

子曰く、

「力足らざる者は中道にして廃す。今女は画れり」

<訳文>

孔子の弟子である冉求が、「先生の教えを学ぶことを幸せに思っていますが、どうしても私の力が足りず、ついていけません。」というとき、先生はこう言われた。「本当に力が足りない者なら、自分が精いっぱい努力した後で、力尽きてやめることになろう。しかし、お前は私が見るところ、まだ全力を尽くしていない。今お前は、自分の力はこんなものだと思い込み、勝手にあきらめてしまっている。自分から自分の力を見限ってしまっってはいけない。」（自分の能力を自分で見限ってはいけない。）

この論語から、生きていく上で壁にぶつかることがあっても、自分を信じて限界まで挑戦することで思っている以上の力が発揮できることを学びました。

今の現状であきらめず、共に励まし合いながら、様々な難関を乗り越えていきましょう。